

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

経営情報科学研究科 修士（経営情報科学）

学則に定める期間在学し、所定の単位を修得して、修士論文の審査及び学力試験に合格すること。さらに、以下に掲げる素養を持つことを求める。

1. 産業界のビジネス諸問題に対抗できる得る経営情報科学の高度な専門的学識を有し、論理的思考力と優れた問題解決ができ得る能力を有していること。さらには豊かな人間性も兼ね備えることを求める。
2. 博士前期課程で培ってきた専門知識、研究成果等を社会に還元するための、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が十分備わっていること
3. 基礎の理解力に根ざした応用力、問題解決能力が養われていること。さらに、諸問題の解決のために、協調性と高い倫理観をもって自ら行動することができること

経営情報科学研究科 博士（経営情報科学）

学則に定める期間在学し、所定の単位を修得して、博士論文の審査及び学力試験に合格すること。さらに、以下に掲げる素養を持つことを求める。

1. 長期的視点に立ってビジネス社会の未来を進化・変革でき、学術発展に寄与し得ること。
2. 研究者、高度専門職業人として高度な研究能力と問題解決能力を有して自立して研究を発展指導できること。
3. 国際性に深い関心をもち、外国語によるコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を備えていること。

教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

経営情報科学研究科

博士前期課程において経営情報科学の高度職業人の養成を可能にし、高度学研を志向する者には、博士後期課程にて自立した研究指導者を養成することを目的とし教育課程を編成する。前期課程では基礎的で全般的な専門科目を多く配置し、後期課程では専門的な研究能力を向上させるための研究演習を重点的に配置し、学術論文作成と研究会や学会で報告し得る能力を育成するための教育課程を配する。

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

経営情報科学研究科 博士前期課程

<経営情報科学専攻>

経営学、情報科学などの基礎学力を修得し豊かな人間性を持ち、優れたコミュニケーション能力を備え、学習意欲の旺盛な人を受入れる。また、国際社会に貢献する意欲のある人。

経営情報科学研究科 博士後期課程

<経営情報科学専攻>

修士学位の専門学識を有し、国際的コミュニケーション能力が高く、国際社会に貢献する意欲のある人。経営情報科学の研究意欲が旺盛で、将来、自立して研究活動を持続して行うことができる人を受入れる。